

# 東日本大震災 被害状況

## ●全国の人的・建物被害状況（内閣府HP 平成24年5月29日17時現在）

### 1) 人的被害

死者 15,859名 行方不明 3,021名 負傷者 6,107名

### 2) 建築物被害

全壊 129,912戸 半壊 258,554戸 一部破損 711,348戸

### 3) 避難者

避難者数 341,235名

## ●岩手県の被害状況（岩手県庁HP 平成24年5月30日17時現在）

### 1) 人的被害（全人口1,330,147名） ※全人口は平成22年10月1日現在

死者 4,671名 行方不明 1,220名 負傷者 200名

### 2) 建築物被害（住宅における全壊および半壊数）

家屋倒壊数 24,877棟

### 3) 沿岸部の主な地域の被害状況

	全人口（名）	死者（名）	行方不明（名）	家屋倒壊数（棟）
陸前高田市	23,300	1,555	230	3,341
大船渡市	40,737	340	81	3,629
釜石市	39,574	888	156	3,648
大槌町	15,276	803	475	3,717
山田町	18,617	604	153	3,167
宮古市	59,430	420	97	4,675
合計	196,934	4,610	1,192	22,177

## ●岩手県の視覚障害者の被害状況（各市町の調査 平成24年5月30日現在）

	障害者 全人口（名）	障害者 死者（名）	視覚障害者 全人口（名）	視覚障害者 死者（名）
陸前高田市	1,155	123	104	8
大船渡市	1,743	42	190	4
釜石市	2,039	64	190	4
大槌町	912	不明	87	不明
山田町	851	61	93	4
宮古市	2,462	36	178	不明
合計	9,162	326	842	20

※全人口は岩手県HP 平成22年3月31日現在

※障害者数＝障害者手帳保持者数

## ご支援・ご協力くださった方々

### ●岩手県視覚障害者福祉協会の皆さんと三浦久幸さん

北海道に次ぐ面積を持つ岩手県は、沿岸部を中心に甚大な被害を受けた。視覚障害被災者への一刻も早い支援が必要とされていたものの、慣れない土地での支援活動には、大きな困難が伴った。そこで、「社会福祉法人 岩手県視覚障害者福祉協会」（盛岡市）とその副理事長・三浦久幸さんに現地で多大なご支援・ご協力をいただいた。

岩手県内の視覚障害者の福祉向上に取り組む同協会は、東日本大震災発生後、インタッチの現地対策本部としての機能を担っていただき、私たちの活動を幅広くサポートしてくださった。

また、効率的な支援のあり方を模索する私たちに、三浦久幸さんはさまざまな助言を与えてくださった。改めて感謝申し上げます。



副理事長の三浦さん



岩手県視覚障害者福祉協会

## 支援物資



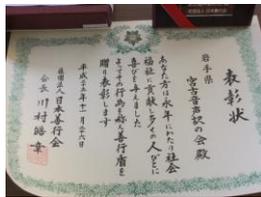
折りたたみ式の白杖や音声体温計などを含む支援物資。多くの方々からご寄付いただき、岩手県視覚障害者福祉協会をはじめ現地の団体・組織を通して、または視覚障害者に直接配布した。

●現地でご協力くださった団体

- ・みやこさいがいエフエム
- ・エフエム・ワン
- ・おおふなとさいがいエフエム



- ・宮古音声訳の会



- ・せきれい (大船渡市)



- ・山田町朗読ボランティア



- ・大船渡市



- ・東海新報社



- ・山田町立図書館



- ・大船渡市社会福祉協議会



- ・宮古市社会福祉協議会



※大船渡市総合福祉センター内 ※宮古市総合福祉センター内

●インタッチ構成・協力団体

- ・社会福祉法人 視覚障害者文化振興協会 (JBS日本福祉放送)
- ・NPO法人 マイライフ・ステーション協会
- ・NPO法人 神戸アイライト協会
- ・ファーストウィンドの会
- ・NPO法人 六星

●支援活動でご協力くださった方々

- ・キャノンシステムアンドサポート株式会社 大阪北営業所
- ・村上美文 (株式会社USEN)
- ・株式会社シュール
- ・大島洋一
- ・株式会社イール・トウェンティ・ワン
- ・株式会社バズ
- ・谷本榮一
- ・兼藤産業株式会社
- ・URO電子工業株式会社

●義援金・助成金でご協力くださった方々

義援金

平成24年3月末日現在(敬称略)

鈴木隆志 (歌謡スポット編集社)	51,699 円
医療法人社団 神戸クリニック/神奈川アイクリニック	100,000 円
医療法人社団 四谷見附クリニック	100,000 円
医療法人社団 ソルジェンテ タカナシクリニック新宿	100,000 円
関根正弘 (関根プロダクション)	67,477 円
黒田道丈 (オフィス黒田)	10,000 円
廣野秀子	10,000 円
佐藤嘉修	20,000 円
芳の川志信 (よっしーの歌謡祭&カラオケむっちゃん 発表会)	38,417 円
のとや	30,000 円
(株)エーセツ カラオケモノトーン豊中店/千里店/宝塚 店	13,331 円
古宮 亮	30,000 円
古宮 亮	30,000 円
神田純治	10,000 円
八木良平	20,000 円
‘We are one’ TASUKEAI Mutual Aid for JAPAN	140,270 円
米沢富久恵	30,000 円
鍼灸院みつしま 光島貴之	10,000 円
近藤信武	10,000 円
日本ロービジョン学会学術総会	20,000 円
福知山点友会	15,000 円
特定非営利活動法人タートル	40,000 円
日本商業施設株式会社 (関西エリア5店舗)	28,843 円
神戸ライトセンター運営協議会	15,715 円
神戸アイライト協会	20,000 円
神戸アイライト協会	10,000 円
神戸アイライト協会	41,845 円
神戸アイライト協会	10,000 円
点訳きつつき	100,000 円
カラオケ喫茶選抜対抗歌合戦 (よっしー&ぷ〜子の歌 謡祭)	12,819 円
ニュー平尾友の会	23,032 円

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	5,000 円
一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	30,000 円
日高医療センターの皆さま	15,130 円
リズムトーン 太田柳子	10,251 円
有限会社ココス東大阪店 橋本学	5,026 円
カラオケ喫茶 泉	5,582 円
大阪庄や 貝塚店	17,374 円
川越利信	20,475 円
茂木幹央	85,000 円
匿名希望 (個人)	100,000 円
匿名希望 (個人)	7,600 円
須崎京子、古畑悦子、金子美砂子、歌謡練場リズムトーン、まぶか会 石田美代子、カラオケむっちゃん、久保珠美、清水ただしの派遣村 TV、西村典之、平野富美男の店、岡田三誠、第5回 JBSチャリティ・カラオケ大会募金箱	56,446 円
インタッチ本部事務所 募金箱	59,482 円
<b>義援金総額</b>	<b>1,575,814 円</b>

#### 助成金

特定非営利活動法人ゆめ風基金	100,000 円
公益財団法人日本財団	1,000,000 円
社会福祉法人中央共同募金会 (赤い羽根共同募金)	1,820,000 円
独立行政法人福祉医療機構	2,590,000 円
JR西日本あんしん社会財団	500,000 円
<b>助成金総額</b>	<b>6,010,000 円</b>

#### ●機関紙「インタッチ・レポート」の編集・発行でご協力くださった方々

英語版 翻訳	・ Hamish Smith (ニュージーランド)
校正	・ Perry Chinyama (ザンビア)
	・ Damien Thompson (ニュージーランド)
	・ 大原正子
視覚障害者用テキスト版	・ 竹田幸代
	・ 海老澤弥生

●支援物資でご協力くださった方々

・大島洋一	LEDベスト	4着
・櫛玲子	白杖	4本
	反射リストバンド	34本
	反射手袋	2個
	反射タスキ	2本
・株式会社笹倉玄照堂	ライト付帽子	10個
・野河特許事務所	防護服	3着
・まぶか会 石田美代子	防寒帽子	75個
	文房具・小物	一式
・青木雅行	キーホルダー型音声時計 (点字説明書付き)	10個
・兼藤産業株式会社	緊急告知防災ラジオ	225台
・URO電子工業株式会社	//	
・竹本清蔵	小型ラジオ	1台
・西口やす子	マスク・食料品	一式

●被災者受け入れでご協力くださった方々

- ・竹田たか子、鷹野恵一 シンガポール人宿泊 2名

●海外からも義援金が届きました



世界中で行われている東日本大震災被災者支援活動。インドで募金活動をした団体‘We are one’ TASUKEAI Mutual Aid for JAPAN。同団体を代表して、内藤都子さんが募金 140,270 円をインタッチへ届けてくださった。平成 23 年 5 月 12 日、名古屋市にて。

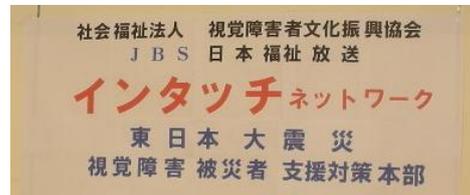
‘We are one’ TASUKEAI Mutual Aid for JAPAN の内藤 都子さん。

義援金総額	1,575,814 円
助成金総額	6,010,000 円
合計	7,585,814 円

## 「インタッチ」の活動

### 発災の翌朝、視覚障害者支援に乗り出す

JBS日本福祉放送（社会福祉法人視覚障害者文化振興協会）では、東日本大震災の発災翌日（3月12日・土）早朝に会議を行い、視覚障害被災者を支援する特別番組の編成を行うと共に、支援活動を実施することを決定。「東日本大震災 視覚障害被災者支援ネットワーク インタッチ」を立ち上げた。



#### ●インタッチの活動方針

1. 被災地に調査・支援隊を派遣する
2. 被災地の状況把握と安否確認を行う
3. JBS日本福祉放送にて被災状況を放送する
4. 通信・ホームページ等で関係者への広報を行う



上) 支援活動の方針固めをするJBSスタッフ。池田勝次、佐藤庸子、東大悟 他。

下) 初動段階で用意した支援物資の一部。

### 大阪と岩手に拠点を設置

会議で方針が決定すると、「インタッチ」本部を「JBS日本福祉放送曾根崎研修所」（大阪市北区）1階に（その後、大阪市都島区に移動）、現地対策本部を「社会福祉法人岩手県視覚障害者福祉協会」（岩手県盛岡市）内に設置した。

また、「JBS日本福祉放送大阪スタジオ」（大阪市都島区）からは、ラジオを通じて被災情報を発信した。